

中川村が目指す新たな学校の姿

美しい村・中川村を再発見し、自ら楽しみ、次世代につなげる「みんなの学校」

学校教育が目指す子どもの姿

自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む

目指す子どもの姿を実現するための教育



探究的に学ぶ

自分で問いを立て、自分の方法で、自分なりの答えにたどり着く、こうした経験をたくさん積むことで、主体性を育んでいきます。主体性を育むことが、自己肯定感を高めることにつながると考えます。

ごちゃまぜに学ぶ

学級だけではなく、同学年、異学年、地域の皆さんや村外の学校など、様々な人々と交わり学ぶ経験をたくさん積むことで、自分も他者も大事にし、違いを認め合い、共に生きていく力を育んでいきます。

中川村全体を学びの場としてグローバルに学ぶ

ふるさと中川村の人・自然・文化などの多様な魅力にたっぷり触れながら、グローバル(=地球規模の視野で考え、地域で行動する)に学ぶ経験をたくさん積むことで、よりよい社会をつくっていく意識や実践力を育んでいきます。

新たな学校建設予定地(検討委員会)

- ・現中川中学校敷地を予定地とする
- ・できるだけ広く用地を確保するため、東側公営住宅敷地も用地として検討するよう委員会として意見

子ども達の学び
のエネルギーで
あふれる学校

目指す新たな学校の姿を実現するための仕組みとアクション

施設一体型の小中一貫教育校〈義務教育学校〉・学校運営協議会〈文科型コミュニティスクール〉等

9年間を一体的にとらえ、“発達段階に応じた特色ある学びを推進するカリキュラム”を整える

同学年、異学年、地域の皆さんなど、“多様な学習グループ”で学べる学校施設や設備を整える

地域が学校と連携・協働して、“オール中川”で子ども達の学びを支え育てる体制を整える

子ども達にとって
楽しく居場所
となる学校